

令和4年度全国優良経営体表彰受賞者（東北農政局管内分）

全国担い手育成総合支援協議会会長賞

【経営改善部門】

秋田県井川町 農事組合法人 かいたくしゃ イカワ改拓社

あさの ひろあき
代表者：浅野 博明 氏

経営規模：59.4ha（水稲49.9ha、大豆7.5ha、ネギ2.0ha）（注）数字は令和3年当時のもの

経営展開のポイント

- ・平成28年、井川町を中心とした集落型農業法人として設立。「10年後に10年続く農業を目指して」を経営理念に、農地と農業を未来につなぐことを主眼に活動。
- ・主要部門の水稲のほか、複合部門として収益性の高いネギを導入。水稲では、分散する農地とその作業を管理するほ場管理システムの導入、GPS付きトラクターや田植機など、スマート農業技術の導入も意欲的。
- ・複合部門のネギは、品種や作型の組み合わせによる通年生産により、地域から3名を通年雇用。休暇制度や労働保険・社会保険の整備など、就業条件の整備を積極的に実施。



イカワ改拓社の皆さん

【経営改善部門】

福島県相馬市 合同会社 いとよ 飯豊ファーム

たけざわ かずとし
代表者：竹澤 一敏 氏

経営規模：84.1ha（水稲14.8ha、大豆47.2ha、小麦21.3ha、秋冬ブロッコリー0.8ha）

経営展開のポイント

- ・平成24年4月、被災農地の早期復旧と営農再開のため個別農家が集まり法人を設立。収益性の高い大豆単作から始め、水稲や小麦も集約して輪作体系を確立。
- ・さらにブロッコリーを導入したことで作期が分散され、労力配分の効率化や大豆の連作障害の回避が可能となり経営が安定化。
- ・水稲は乾田直播栽培、小麦は立毛間播種、大豆は小畦立て播種栽培を導入し、省力化された効率的な生産により経営を改善。
- ・大学等と連携した研修生の受入れによる後継者育成への貢献等、広く地域農業の振興に寄与。

（注）数字は令和3年当時のもの。



飯豊ファームの皆さん